

朝鮮繪葉書

第二編

朝鮮總督府



(朝鮮印刷株式會社納)



朝鮮の面積

一萬四千三百十二方里にして、滋賀縣を除きたる内地本州の面積と略等し。
 朝鮮の氣候
 南部沿岸は福井地方、中部は信濃地方北部沿岸は函館地方に似たり。されど冬季は三寒四溫あるを以て大に緩和され、夏季は朝夕涼しくして凌ぎ易きを覺ゆ。

生 穫 高 大正十三年 明治四十三年
 收 穫 高 大正十三年 明治四十三年

米	大正十三年 一三二、九三三石	明治四十三年 一四三、八五三石
麥	九七、〇〇一石	七〇、三八四石
陸地棉	一〇六、九二二石	七〇、七〇七石
棉(名來棉)	三〇、八七五石	一六、〇〇〇石
漁獲高	三六、八九九、五二六石	四十四年六、七三三、一六〇石

總額	二、三七九、〇八一	二、九七七、七三三	三、〇六六、〇〇三	三、二二一、八七〇	六、六八六、三三三	五、九六六、五九九
輸出	一、九七七、七三三	三、〇六六、〇〇三	三、二二一、八七〇	六、六八六、三三三	五、九六六、五九九	六、〇〇〇、〇〇〇
輸入	四〇一、二四八	九一〇、七三〇	八四四、一三三	五五五、二〇〇	六八〇、三三三	九六六、六六六
移出	一〇〇、〇〇〇	二〇〇、〇〇〇	三〇〇、〇〇〇	四〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	六〇〇、〇〇〇
移入	一〇〇、〇〇〇	二〇〇、〇〇〇	三〇〇、〇〇〇	四〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	六〇〇、〇〇〇
合計	二、三七九、〇八一	二、九七七、七三三	三、〇六六、〇〇三	三、二二一、八七〇	六、六八六、三三三	五、九六六、五九九

學校	小學校	中學校	高等普通	女子高等	實業	實業補	專門	師範	各種	總計
大正十三年	四四二	一〇	二二	七	四五	二二	九	一四	八〇	二四八
五月末	四四二	一〇	二二	七	四五	二二	九	一四	八〇	二四八
明治四十三年	二二八	一	三	一七	五	二〇	三	五	一	一六七

普通學校は主として朝鮮人兒童に對する教育機關にして、各種學校は學科課程につき法令の規定に依らざる學校を謂ひ、主として私立なり。

人口

總數	内地人	朝鮮人	外國人
大正十三年末	一八、〇六八、二一六	四二、五九五	一七六、二九五〇
明治四十三年末	一八、〇六八、二一六	四二、五九五	一七六、二九五〇

朝鮮の交通

國有鐵道は千三百哩、私設鐵道は開業線三百八十三哩に達し、一等道路、二等道路(以上國道に該當す)三等道路(府縣道路に該當す)の道路網延長は六千五百六十六里餘にして、内改修を了したるもの六割強に達し、地方主要區間概ね自動車を通ず。又港灣の設備も大に整ひ、就中釜山・仁川・元山・鎮南浦に於ける築港工事の如きは其の著しきものなり。

